

第21回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成21年2月

応募者名:北海道 札幌土木現業所

事業の名称:恵庭都市計画道路

3・4・123団地中央通 踏切除却事業

実施都市名:恵 庭 市

事業目的

事業実施箇所の3・4・123団地中央通は、恵庭市の中心部である恵庭市街地と恵み野市街地を結び、本市道路網の骨格を担う重要な路線である。

当該事業により、踏切遮断による交通渋滞解消、車道・歩道幅員の拡幅整備による車両の走行性と歩行者の安全性の向上、中心市街地へのアクセス性の向上が図られ、また、歩道のバリアフリー化によって、高齢者や身体障害者の歩行の利便性や安全性の向上等に寄与します。

事業概要

事業名：恵庭市都市計画道路

3・4・123団地中央通切除却事業

路線名：主要道道 恵庭栗山線

事業箇所：恵庭市住吉町2丁目～恵庭市黄金中央2丁目

事業延長：980m

幅員：20.0～31.5m

総事業費：4,545百万円

事業期間：平成14年～平成19年

3・4・123団地中央通踏切除去事業は、区画整理事業が実施されている黄金地区を起点とし、JR千歳線を立体交差で通過し、道道恵庭栗山線(旧国道)交差点までの延長約980mを整備した。

JR千歳線を通過する立体交差部416m区間の構造は、経済性等から橋梁工と擁壁工を採用し、積雪寒冷地である地域特性からロードヒーティングによるコスト増の回避とバリアフリーを踏まえ、縦断勾配を5%以下で計画した。

また、橋梁区間長は、桁下空間の有効利用とコスト面を踏まえ、可能な限り延伸する計画を図った。

事業位置図

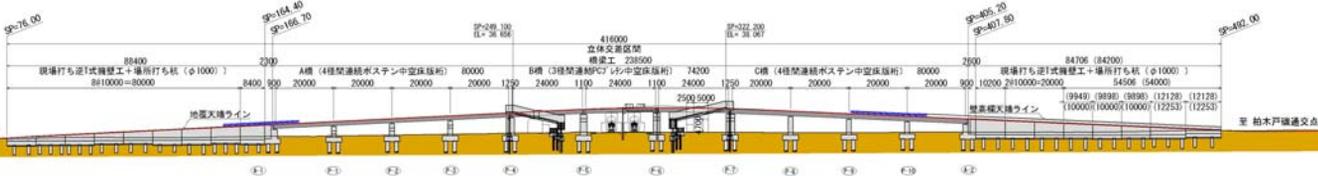


立体交差区間(平面図・側面図・横断面図)

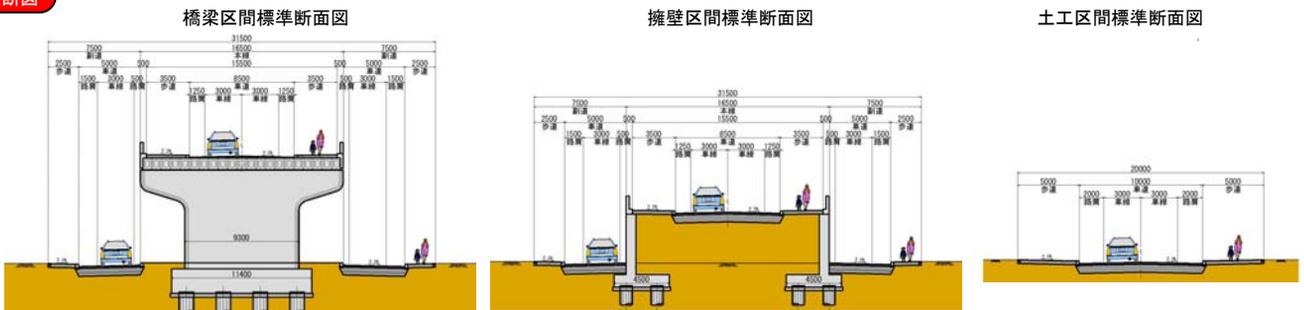
平面図



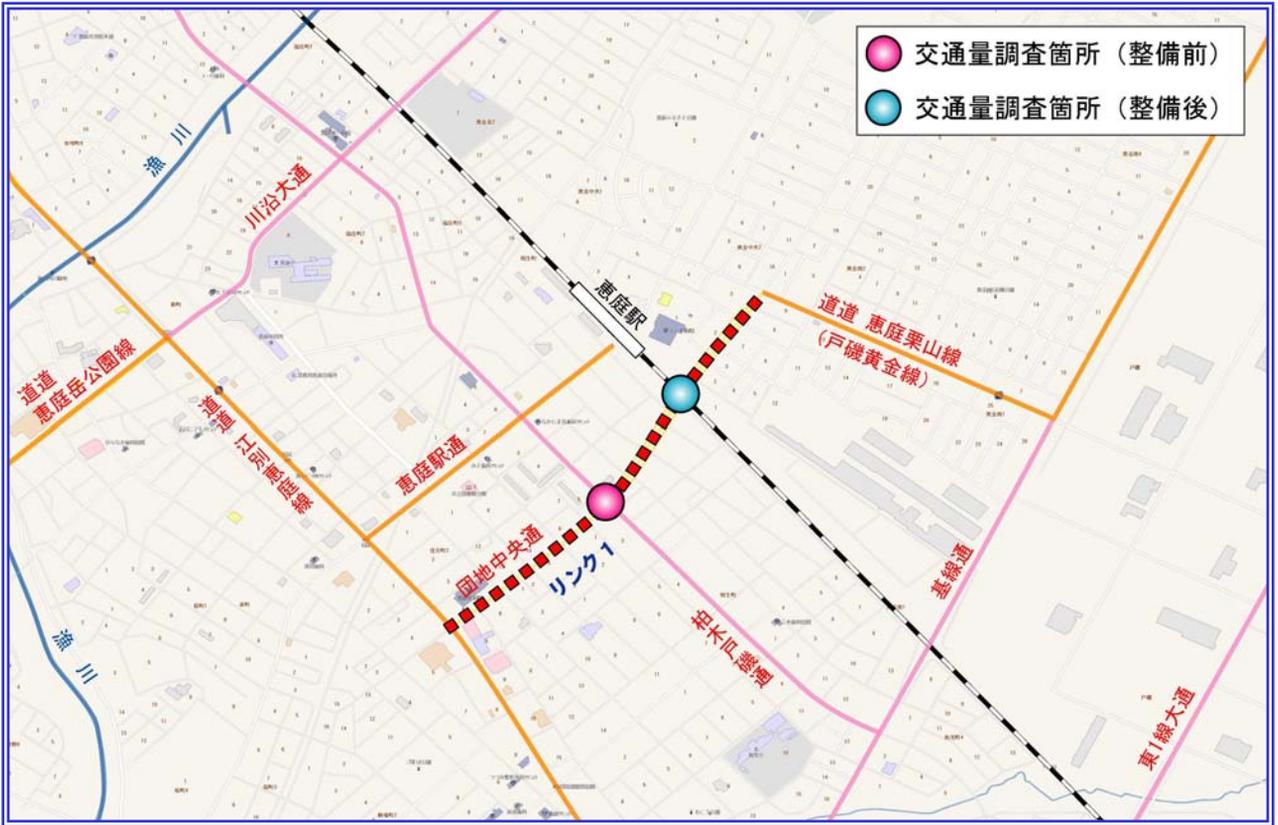
側面図



横断面図



3・4・123団地中央通の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 恵庭市都市計画道路
 3・4・123団地中央通踏切除却事業
 路線名: 主要道道 恵庭栗山線
 事業箇所: 恵庭市住吉2丁目
 ~ 恵庭市黄金中央2丁目
 事業延長: 980m
 幅員: 20.0m~31.5m
 総事業費: 4,545百万円
 事業期間: H14~H19年度

○交通量調査結果

供用前 平成12年 6月20日
 供用後 平成19年10月24日

リンク1)

12時間交通量	2,423台	→	5,096台
ピーク時交通量	285台/h	→	583台/h
旅行速度	27.2Km/h	→	32.6Km/h

「整備効果」

- 踏切除却による渋滞の解消。
 (ピーク時間当たりの踏切遮断時間の解消)
 団地中央通: 25分/h ⇒ 0分/h
- 旅行速度の向上
 団地中央通: 27.2km/h ⇒ 32.6Km/h
- 団地中央通周辺の環境改善(推計値)
 CO₂: 456kg-c/km/日 ⇒ 370kg-c/km/日
 NO_x: 2,621g/km/日 ⇒ 2,199g/km/日
- 車道・歩道幅員の拡幅整備により、車両の走行性と歩行者の安全性が向上。
- 恵庭・恵み野市街地間の利便性の向上に伴い、中心市街地の活性化に貢献。



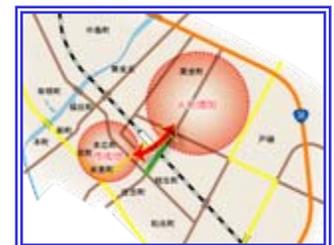
事業前



事業後:H19.9



事業前



事業前写真

JR千歳線踏切部 平成15年5月撮影



一般部(相生町側) 平成17年2月撮影



立体交差部(黄金町側) 平成12年7月撮影



事業後写真

JR千歳線踏切部 平成19年9月撮影



立体交差点(相生町側) 平成19年2月撮影



立体交差点(黄金町側) 平成19年9月撮影

